

# 平成16年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成16年 2 月12日

上場会社名 株式会社メガチップス  
(URL <http://www.megachips.co.jp/>)

(コード番号：6875東証第1部)

問合せ先 代表者役職 代表取締役社長

氏名 松岡 茂樹

責任者役職 執行役員コーポレートプランニング経理・財務・IR担当

氏名 藤井 理之

(TEL：(06) - 6399 - 2884)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高及び営業利益に係る会計処理の方法 : 無

の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有(15年3月期比 連結(除外)1社)

## 2. 平成16年 3 月期第 3 四半期業績の概況(平成15年 4 月 1 日～平成15年12月31日)

### (1) 売上高及び営業利益

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
16年 3 月期第 3 四半期	20,278	-	1,601	-
(参考)15年 3 月期	29,055		1,741	

(注) 1. 売上高及び営業利益は、当該四半期までの累計値であります。

2. 四半期決算の開示は、平成16年 3 月期第 1 四半期より実施しておりますので、前年第 3 四半期の実績は記載しておりません。また、前年第 3 四半期との比較についても行っておりません。

### ・業績の全般的概況

当四半期におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が輸出主導による緩やかな回復基調にあるものの、依然として厳しい雇用情勢や消費低迷が継続しており、不況色の濃い状況で推移いたしました。

また、当社グループが属する電子機器業界におきましても、一部デジタルテレビやデジタルカメラ等の民生用映像機器や、携帯電話の市場の拡大が見られたものの、電子機器業界全体の市場は前年比微増という状況で推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループでは、当社の事業基盤である顧客専用LSI(ASIC)に加えて、画像の圧縮伸張や音声・音楽の圧縮伸張、通信等の当社の独自技術を競争力とした特定用途向LSI(ASSP)及び当社システムLSIを搭載した独創的なシステム製品の開発及び販売に注力してまいりました。

特に、映像、音声、音楽等のメディアのデジタル化と、ブロードバンドネットワークや第3世代携帯電話網の普及により、情報通信分野における当社グループの活躍の場が拡大しており、これら成長分野に向けてデジタルカメラ向けシステムLSIや第3世代携帯電話向けシステムLSIの開発と販売、またセキュリティ・モニタリング用途に利用されるデジタル映像伝送・記録を中心としたシステム製品の開発と販売、及びシステムインテグレーションを進めてまいりました。

その結果、連結ベースでの売上高は202億7千8百万円、営業利益は16億1百万円となりました。

### ・セグメント別の概況

#### LSI事業

顧客専用LSI(ASIC)につきましては、ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムマスクROM)が堅調に推移したものの、ゲーム機本体や周辺機器向けのシステムLSIの需要が低下したことにより、連結売上高は134億6千4百万円となりました。一方、特定用途向LSI(ASSP)につきましては、ワイヤレス通信用LSIの需要が低下したものの、デジタルスチルカメラ用1チップLSI、AV機器向けのLSI、第3世代携帯電話向けの画像・音声・通信処理用LSIの需要が堅調に推移したため、連結売上高は46億5千1百万円となりました。以上の結果、その他LSIを含めましてLSI事業全体の連結売上高は181億1千7百万円となりました。

#### システム事業

産業用システムにつきましては、セキュリティ・モニタリング分野における設備投資の低迷が継続し、当該分野向けのデジタル画像記録・伝送システムの需要も低調に推移しましたが、新製品投入効果により連結売上高は10億7千9百万円となりました。一方、民生用システムにつきましては、主にネットワークカメラの新製品開発と販売活動に注力してまいりましたが、連結売上高は3千4百万円にとどまりました。以上の結果、その他シス

テムに分類しております株式会社メガチップスシステムソリューションズ（平成15年10月30日付で株式会社メガフュージョンより商号変更）が独自に取り組んでおります事業を含めまして、システム事業全体の連結売上高は21億6千1百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

・財政状態

当四半期において財政状態に重要な影響を与えた事象は発生しておりません。

・経営成績に重要な影響を与えた事象

当四半期において経営成績に重要な影響を与えた事象は発生しておりません。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

	売上高	営業利益
	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	19,127	1,853

3. 平成16年3月期の業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

平成15年11月13日の中間決算発表時に公表いたしました平成16年3月期の業績予想より修正しておりません。

・業績予想に関する注意

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上